



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

長崎バスグループCSRレポート2015

長崎バス安全教育センターCSR推進課
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

2016年3月発行

人と人

毎日の暮らしとともに
長崎バスグループ

街と街を結ぶ

NAGASAKI BUS GROUP



長崎バスグループ
CSRレポート2015
NAGASAKI BUS GROUP CSR REPORT

樺島大橋



私たちは、日本一愛される バス会社を目指します

当社では、人と人、街と街を結ぶ企業として「安全はすべてに優先する」という安全方針を最重要項目に掲げております。この方針のもと、日頃から従業員ひとりひとりがレベルアップを図るための努力を惜しまず、その上であらゆる取り組みを実践。すべての従業員が長崎バスグループの一員であるという誇りを胸に、仕事に対する意識をより一層高めていくことが、お客様ひいては地域社会との信頼関係につながるものと考えております。

明日の長崎バスグループを担う人材育成は、これらの目標を達成する上で大切な要素のひとつ。「安全性」「利便性」「快適性」など、今後もお客様にご満足いただける質の高いサービスを社員一丸となって追求できるよう、働きがい・喜びを見出せる豊かな職場環境づくりと活力あふれる企業風土の土台を築いてまいります。

そして、さらに地域社会の発展に貢献していきたいという目標の実現に向けた長崎バスグループのCSRを果たしてまいります。

CSRとは
「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」という意味です。企業の不祥事が多発する中、企業が顧客、地域社会、株主、従業員、地球環境等、周囲を取り巻く利害関係者（ステークホルダー）とどう向き合っていくのか、ということが課題となっています。

長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

経営理念

安全と安心 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。

感謝のころ お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。

仕事への誇り 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。

地域とともに 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。



時津北部ターミナル 運用開始

平成27年4月6日、国道206号日並バイパス沿いに、営業所を併設した長崎バス時津北部ターミナルの運用を開始いたしました。

新時津営業所は新たな路線バスの運行拠点として、時津町を中心とする長崎北部方面の発展に対応するためのものです。また、営業所には、最新の設備を備え、職員が職務に専念できる職場環境を実現しました。なお、時津北部ターミナルは、ご利用になられるお客様の利便性向上を第一に考えた快適な空間となりました。

長崎バスでは平成9年の運賃改定以降、17年以上にわたり現行の運賃水準を維持してまいりました。しかし、人口減少の著しい長崎市域において、地域の皆様の生活の足となる路線を維持するため、止む無く運賃改定を実施いたしました。お客様にはご負担をお掛けいたしますが、時津北部ターミナル新設をはじめ、今後もさまざまな部分で安全性と快適性をより一層追求し、サービス向上という形で皆様に還元してまいりたいと思います。

お客様の安全を守るという使命

すべての人に信頼される企業を目指します

安全への取り組み

これまで、「安全はすべてに優先する」の安全方針のもと、私たちは安全施策とサービスを追求してまいりました。

当社では、運転者の安全運行、エコ運転の推進におけるデータ収集のため、デジタルタコグラフを全車に搭載しております。デジタルタコグラフとは、運行記録計の一種で車両の運行にかかる速度・時間等を自動的にメモリーカード等に記録する装置です。運転者自身が自分の運転操作を再確認し、運行管理者はそのデータを基に運転者の指導を行うことで、事故防止等の運行管理に役立てています。

また、市内中心部における40km/h走行の遵守と合わせて、安全運転及びエコ運転の評価が格段に上昇しました。

このように事故削減と安全運行の励行に取り組んだ結果、平成27年は、前年と比べ事故件数が大きく減少し、重大事故ゼロを達成することが出来ました。

これからも、私たち一人ひとりが、自らの責任と役割を自覚し、お客様からの信頼に応え、安全の確保に向けた不断の努力を重ねてまいります。

私たちの決意

【安全宣言】
安全はすべてに優先する

【サービス宣言】
「ありがとうございます」お客様に感謝

長崎自動車株式会社

安全運転指導技能向上 研修会の開催

長崎バス安全教育センターでは、営業所で運行管理に携わっている運行管理者を対象に研修を実施しました。運行管理者はバスの運転者を指導する立場であり、より正確にバスの車両特性を理解しておかなければなりません。研修会では、日頃の乗務員指導に役立てることの出来る効果的な指導法を学びました。

また、グループ会社の安全運転研修会も開催。株式会社COCOアドバンスの研修会では、営業車を運転する機会が多い社員を対象に研修を実施しました。これまでは研修を受ける機会がなかったため、運転操作は我流になりがちでした。日頃の自分自身の運転を見直し、安全運転の大切さを再認識する機会となりました。

長崎バスグループは、安全をすべてに優先し、信頼される企業を目指してまいります。



安全運転・事故防止の 映像教材を制作

長崎バス安全教育センターでは、基本運転姿勢・基本動作の重要性をテーマとした映像教材を制作しました。映像には運転者が出演し、事故を防止するための基本動作について、ドラマ形式で解説しています。

これまでに制作した映像教材は4作品で、作品ごとに協力営業所を変えています。同僚のバス運転者が出演しているため、積極的に視聴することにも繋がります。また、営業所での安全推進会議などでも活用し、事故防止に役立っています。



ソフト・ハードの両面からアプローチします 豊かな環境づくり への配慮



環境に優しい バスへの入れ替え

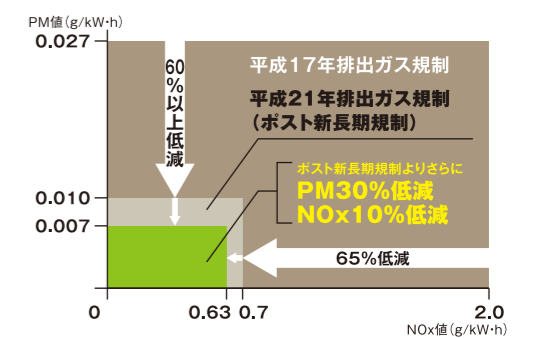
平成27年も、長崎バスグループでは、新たに車両を導入しました。本年導入した全車両は、最先端のテクノロジーを満載し、世界でも極めて厳しいポスト新長期排ガス規制に適合しています。規制値よりもさらにPM30%・NOx10%低減しており、低排出ガス車の認定も取得しています。

また、硫黄を多く含む軽油がエンジンなどで燃焼すると、硫酸化物やサルフェートといった有害物質が発生します。しかし、現在、使用している燃料は、環境にやさしい、硫黄分10ppm以下の超低硫黄軽油（S-10ppm軽油）です。超低硫黄軽油は、排出ガス中のPMなどの発生を減少させ、環境の改善に大きく寄与する燃料です。

そのほか、車両の灯火類の随所にLED照明を取り入れることで、電力使用量を低減。発電量を減らし、燃料使用量の削減にもつなげています。

長崎バスグループでは、最新の車両を導入することで、ハード面での環境性能の向上を図るとともに、エコドライブを推進することで、ソフト面からも環境負荷低減に努めております。

導入車両の排出ガスの数値



参考資料 / いすゞ自動車株式会社

世界遺産を 長崎バスグループでPR

8県11市に立地する23の構成資産が「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されました。19世紀後半から明治期にかけて、日本で急速に進んだ産業の近代化。国内最多の8資産が集中する長崎の街は、産業革命を成功に導いた重要拠点でもあったのです。

身近な長崎の8資産が世界遺産に登録されたことは、私たち長崎バスグループにとっても、この上ない喜びです。

世界遺産に登録された8資産を、多くの方に見て欲しい、知って欲しい、楽しんで欲しいという思いから、長崎バスグループでは様々な取り組みを行っています。

そのひとつが「明治日本の産業革命遺産」の県内構成資産をPRするラッピングバスの運行。長崎バス安全教育センターにて、協賛企業8社の代表者の方々を招き披露式典を執り行いました。

また、指定区間内を1日に何度でも乗り降りできる「明治日本の産業革命遺産1日乗車券」も発売。構成資産の最寄りの停留所で車内放送を行い、観光客の利便性向上に努めました。

長崎バス観光では、「長崎世界遺産めぐりバスツアー」を催行。長崎市の世界遺産研修を受講した世界遺産ナビゲーターによる案内で、軍艦島の絶好ビューポイントや観光地などを面白く紹介しています。



愛するふるさとの発展が企業の願い
私たちは地域と共に
歩みます



高浜町吉里バス停付近から
軍艦島を望む

市民ミュージカル

『赤い花の記憶 天主堂物語』

信徒発見150年である本年、長崎県におけるキリスト教継承の歴史をテーマに上演された市民ミュージカル『赤い花の記憶 天主堂物語』を特別協賛いたしました。

「長崎の教会群とキリスト関連遺産」の世界遺産登録を支援し、長崎の皆様幅広くその歴史的な意義を知っていただきたいとの思いから上演が決定。

出演者のほとんどが一般の県民市民の皆様という特別な舞台となりました。

本ミュージカルは長崎ブリックホールにおいて昼夜2回公演され、

両公演で2,500人を超えるお客様にお越しいただき、好評により追加公演も決定しました。



多彩なメセナ活動

文化・芸術活動等を通して地域の活動を支援するメセナ活動。当社では昭和61年4月にこのような支援活動を恒常化させるため、「財団法人長崎バス観光開発振興基金」を設立し、その運用益をもって、長崎県内の観光・文化・スポーツ・教育等の活動に助成してきました。

平成27年度は、市民ミュージカル「赤い花の記憶 天主堂物語」への協賛など、計15団体への助成を行いました。

バスの日イベント

長崎バスが日頃からお愛顧頂いているお客様、地域の皆様に感謝の気持ちをお伝えすることを目的としたイベント「わくわくバスフェスタ2015」をみらい長崎ココウォークで開催しました。

今回が7回目となるこのイベントは、長崎バスの若手社員で実行委員会を立ち上げ、企画から運営まですべて行っています。

毎年恒例のステージイベントや塗り絵大会など、様々なイベントを開催。

今回は、「明治日本の産業革命遺産」登録決定を記念し、長崎バスで巡る、世界遺産クイズを行うなど、多くのお客様に楽しんでいただきました。



深い歴史を共有する長崎とオランダ 文化交流の輪は 広がっています



長崎日蘭協会オランダ公式訪問
眼下に広がるアムステルダムの運河と街並み

長崎日蘭協会オランダ公式訪問

オランダと日本の親睦と文化交流に寄与することを目的に、長崎の経済・報道関係者などが中心となって設立された長崎日蘭協会。

協会会員がオランダを訪れ、行政・産業・学校等の関係者と直接交流することで、両国の更なる関係深化に繋げるための公式訪問を行いました。

長崎日蘭協会会長の上田恵三(当社会長)、在長崎オランダ王国名誉領事の嶋崎真英(当社社長)も同行しました。



オランダ人墓地のボランティア清掃

オランダ人墓地理葬者慰霊祭の事前準備も兼ね、悟真寺オランダ人墓地のボランティア清掃を行いました。参加者は、長崎県長崎市の職員、長崎日蘭協会事務局、在長崎オランダ王国名誉領事の嶋崎真英。

清掃作業に汗を流し、墓地を覆っていた落ち葉もなくなり、慰霊祭のお客様をお迎えする準備を整えました。



オランダ人墓地説明看板の設置

日蘭友好の歴史を共有する大事な文化遺産を多くの方に知ってほしいとの思いから、説明版には、悟真寺にオランダ人墓地が開設された経緯などが日本語、オランダ語、英語で記されています。

披露式典には、ラーデインク・ファン・フォレンホーヴェン駐日大使、長崎日蘭協会会長の上田恵三が出席。

現在オランダ大使館は、同墓地の保存整備事業を展開しており、説明版もその一環として設置されました。



出島復元工事、上棟式

国指定史跡「出島和蘭商館跡」において、第3期建築物復元工事の上棟式が行われました。

当日は田上長崎市長、在大阪・神戸オランダ総領事、長崎商工会議所会頭の上田恵三、在長崎オランダ王国名誉領事の嶋崎真英他、約100名の関係者が出席。

工事と建物の無事を祈願し、神事終了後には餅まきが行われました。





役所広司さん 軍艦島をバックに TVCMを制作

長崎自動車株式会社は、平成28年4月に創立80周年を迎えます。

昭和11年4月28日に誕生した「長崎茂木乗合自動車株式会社」を起源とする当社は、お客様並びに地域の皆様から温かいご支援とご愛顧を賜り、これまで歩んで参りました。

80周年を迎えるにあたり、長崎バスのTVCMを制作しました。主演・監督は長崎県諫早市出身の俳優・役所広司さん。

今回のTVCMはバスの運転者不足という現状から、応募につなげるため制作することになりました。

企画に当たりつくりあげたのが、寡黙でありながら、長崎に深い愛情を持ち、そして職人気質である…といった長崎バスの運転者像。「発車します。」その一言だけでも深みのある人格を表現できるのは、長崎出身であり、日本を代表する俳優である役所広司さんしかいないとオファーしました。

また、制作にあたって心掛けたことは、リアリティを追求することです。長崎と長崎バスの描き方に嘘があると、放送地域が長崎であるので違和感を残してしまいます。そこで運転者数十名に加え、地元の人々へ綿密な取材の上で企画を構成しました。

公共交通機関であるバス会社やバス運転者の日常には、人目を引くような派手さはありません。しかし、その地道で名もなき一日の積み重ねが、お客様の利便性の確保や地域のくらしには欠かせません。この思いに込めた言葉が「名もなき一日を走る。」というCMコピーです。

今回のテレビCMを通じて、長崎バスを知ってもらい、多くの方に運転者という仕事に興味を持って欲しいと思います。

長崎バス／80周年CMスペシャルサイト

<https://www.nagasaki-bus.co.jp/recruit/businfo/lp/>





平成27年度 ニュース&トピックス

長崎バス商事 アフラック代理店40周年

アフラックの募集代理店として40周年を迎えました。アフラック代理店格付けで最高位の“AA”評価を6年連続取得するなど、信頼と実績を積み重ね、長崎県下で最も多くの契約件数を誇る代理店に成長しました。

これまでご支援して下さった皆様へ感謝の気持ちを忘れず、今後も一層努力してまいります。



長崎バス建物総合管理 非常時救出操作訓練

みらい長崎ココウォークのシンボルである観覧車。お客様に安心してご利用いただくために、毎年、非常時救出操作訓練を実施しています。

今回も停電時に自動運転が出来なくなったという想定の下で訓練を実施。お客様が安心して楽しんでいただけるように一連の動作を再確認しました。



長崎バス情報サービス インターンシップ受入れ

オランダの「ライデン大学」と「ユトレヒト大学」に在学中の学生を、インターンシップとして受け入れています。期間中、長崎バスウェブサイトの既存時刻検索システムを調査し、業務に使える新しいシステムの研究開発に従事。技術的な仕事をしながら日本の会社を経験でき、非常に勉強になっているとのこと。



ホテル日航ハウステンボスの “おもてなし”

北部九州の人気観光エリアであるハウステンボス。より多くのお客様に楽しんでいただくため、ホテル日航ハウステンボスでは、特別支援学校の修学旅行にもご利用いただいております。平成27年も、10校185名のお客様にご利用いただきました。これからも観光長崎を支え、お客様の目線で安全・安心な滞在を提供してまいります。



長崎バスターミナルホテル 開業40周年

昭和50年に開業し40周年を迎えました。開業当初は、市内初のタワー式パーキングを備えたことでも注目を集めました。

40周年を記念し、ホテルスタッフの写真がデザインされたバス車体へのラッピング広告を作成。スタッフ一同、お客様との心のつながりを大切にこれからも歩んでまいります。



V・ファーレン長崎を サポート

長崎バスグループでは、トレーニングウェア広告スポンサーを行うなど、グループをあげて応援しています。

みらい長崎ココウォーク5階には、サテライトショップ「V・ファーレン長崎 ココウォークサテライト 三菱電機スタジアム」がオープン。クラブの「情報発信基地」としての機能を持ち、サポーターとのコミュニケーションスペースとして開設しました。



人と人、街と街を結ぶ

長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

長崎バス観光株式会社

さいかい交通株式会社

長崎バス商事株式会社

長崎バス建物総合管理株式会社

長崎バス情報サービス株式会社

ホテル日航ハウステンボス

国民宿舎 青雲荘

長崎バスターミナルホテル

みらい長崎ココウォーク

株式会社COCOアドバンス

五島自動車株式会社

